

カールツァイスⅡ型プラネタリウム 大移動！

これまでプラネタリウムのホワイエに展示していた日本初のプラネタリウム「カールツァイスⅡ型投影機」ですが、今回の展示改装でアトリウムへと移設しました。私自身、当館の開館当初からホワイエに鎮座していたツァイスを移動させる日が来るなんて、思ってもいませんでした。しかもホワイエの天井は低く、そのままではアトリウムまで移すことはできません。そこでツァイスの部品を極力取り外し、本体を横倒しにして運ぶ計画が立てられました。いよいよ作業が始まり、見ているこちらはハラハラドキドキしましたが、職人さんたちの匠の技でみごとに移動させることができたのです。

初日にはツァイスのまわりに足場が設置され、2日目に恒星ランプや変光星投影機などの部品を取り外す作業が行われました。作業3日目には、かにクレーンを使って恒星球と惑星棚が慎重に取り外されていきました。そして4日目、いよいよ本体を横倒しにして、ホワイエからアトリウムへと動かしていきます。横に倒した本体は、ホワイエの扉をちょうどギリギリ通る大きさ！何度も切り返しを行いながら、ついにアトリウムに出たのです。

作業5日目以降はアトリウムで本体を立て、順次惑星棚や恒星球、その他細かな部品などを取り付け、投影機の緯度を大阪に合わせる作業も行われました。

こうして、ツァイスは広々としたアトリウムに設置されたのです。まわりは新たにカフェコーナーとなりますので、リニューアルオープンの際には、ぜひツァイスをじっくりご覧ください。

西野 藍子(科学館学芸員)



写真1. 足場の組み立て



写真2. 恒星球の取り外し



写真3. 惑星棚の取り外し



写真4. 本体を横倒しにして、ついにアトリウムへ！



写真5. 組み立て完了